



郷土が生んだ孤高の画家

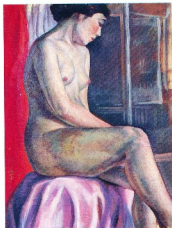
谷田^{てい}錠^{ぞう}三の裸婦展

1995年5月23日(火)～6月11日(日)町立塩江美術館

開館/午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)月曜日休館

料金/一般300円(240円) 高大生150円(120円) 小中生80円(60円) ()内は団体 常設展料金含む

主催/町立塩江美術館 後援 四国新聞社・西日本放送



谷田錠三の裸婦展

1995年5月23日(火)～6月11日(日)

今年、三月中旬頃、谷田錠三という画家の描いた裸婦の素晴らしい作品が、その遺族の方によって保存されていることを聞き、訪れました。そこには、木炭デッサンや油絵などの遺作が所蔵しと陳べられていました。それらの作品の質の高さに驚愕し、郷土にもこのような画家が存在していたことを改めて認識させられました。今回、恒例の講座が開かれる機会をもち是非観覧して頂くようお願いいたしました。

郷土出身でありながら、殆ど知られていないこの作家の絵画における造形と筆致と力量は観る人に大きな感動を呼ぶことと思います。現代は個性とか創造が大切にされていますが、絵とは何かを問う造形の原点がここに展開されています。

今回の展覧会では、谷田氏の遺作の中より裸婦像に焦点をあてて展示致します。これから絵の勉強をされる方、またご自分の活動に行き詰った方などは、ぜひご覧下さい。

谷田 錠三 (1901～1978) 略 歴

明治34年3月	普通科に生まれる
大正4年4月	私立足成中学校入学
大正7年3月	同校第4学年修了
大正7年6月	東京美術洋画研究所に入り里田清輝に師事
大正12年10月	早稲田に絵画普及洋画研究所を開設
昭和3年4月	東京同済会洋画研究所に入り小林貞彦に師事
昭和5年8月	沼津城、絵画普及洋画研究所を再開
昭和7年10月	東京午込築地町等精業愛誠社画家会就任
昭和10年9月	金刀比羅宮奉賛
昭和10年10月	金刀比羅宮画員の称号を没許
昭和18年1月	金刀比羅宮退席



〒602 香川県香川郡塩江町大字安原上字星越602
TEL (0878) 93-1800 (FAX共通)